# 資　料　編

(1) 職員表彰

| | 氏　名 | 職　名 | 内　容 |
|---|---|---|---|
| 63 | 松久保　好太朗 | 食品工業部長 | 通商産業大臣表彰 |
| 〃 | 濱崎　幸男 | 主任研究員 | 中小企業庁長官表彰 |
| 〃 | 杉尾　幸一 | 〃 | 福岡通商産業局長表彰 |
| 〃 | 堀切　政幸 | 企画情報室長 | 〃 |
| | | | |
| 元 | 堀切　政幸 | 企画情報室長 | 中小企業庁長官表彰 |
| 〃 | 長谷場　彰 | 主任研究員 | 九州通商産業局長表彰 |
| 〃 | 肥後　盛英 | 〃 | 〃 |
| | | | |
| 2 | 杉尾　幸一 | 主任研究員 | 中小企業長官表彰 |
| 〃 | 山田　式典 | 木材工業部長 | 九州通商産業局長 |
| 〃 | 田畑　一郎 | 化学部長 | 〃 |
| | | | |
| 3 | 肥後　盛英 | 主任研究員 | 中小企業長官表彰 |
| 〃 | 中重　朗 | 〃 | 九州通産局長表彰 |
| 〃 | 出雲　茂人 | 〃 | 〃 |
| | | | |
| 4 | 瀬戸口　正和 | 研究員 | (社)高温学会技術奨励賞 |
| 〃 | 長谷場　彰 | 主任研究員 | 中小企業庁長官表彰 |
| 〃 | 清藤　純一 | 機械金属部長 | 九州通産局長表彰 |
| 〃 | 水元　弘二 | 主任研究員 | 〃 |

(2) 鹿児島県工業技術センター研究開発推進会議

委員名簿

第1期（S.63～H.1）

| | | |
|---|---|---|
| 産業 | 濱田　光彦 | 県工業技術振興会会長 |
| （6名） | 鳥丸　正勝 | 異業種交流境界食品関連部会長 |
| | 内田　正恭 | 本場大島紬織物協同組合理事長 |
| | 富高　重正 | 県木製家具事業協同組合理事長 |
| | 松崎　正年 | 県コンクリート製品協同組合理事長 |
| | 桑野　正敬 | 県メカトロニクス研究会会長 |
| 学術 | ☆蟹江　松雄 | 鹿大名誉教授・㈶県産業技術振興協会審査委員長 |
| （6名） | 松村　博久 | 鹿大工学部教授 |
| | 永浜　伴紀 | 鹿大農学部教授 |
| | 増水　紀勝 | 第一工大電子工学科助教授 |
| | 碇　　醇 | 鹿児島工高専校長 |
| | 岡村　俊一 | 川内職訓短大校長 |
| 行政 | 志岐　清明 | 福岡通産局技術振興課長 |
| （6名） | 中村　利雄 | 県商工労働部長 |
| | 中野　敦巌 | 県商工政策課長 |
| | 久米高男夫 | 県中小企業課長 |
| | 藤田健太郎 | 県工業振興課長 |
| | 松本　浩二 | ㈶県産業技術振興協会事務局長　☆：委員長 |

第2期（H.2～H.3）

| | | |
|---|---|---|
| 産業 | 濱田　光彦 | ㈳県工業倶楽部会長理事 |
| （6名） | 坂元　昭夫 | ㈳県工業倶楽部理事 |
| | 永田　実秋 | 県産業廃水処理施設工業会会長 |
| | 相良　正典 | 県メカトロニクス研究会会長 |
| | 永谷　仲次 | 登録企業下請取引紛争処理委員会委員 |
| | 西園　靖彦 | 県フローリング工業協同組合専務理事 |
| 学術 | ☆蟹江　松雄 | 鹿大名誉教授・㈶県産業技術振興協会審査委員長　☆：委員長 |
| （7名） | 立川　正夫 | 鹿大工学部部長（H.2） |
| | 宮内　徳之 | 〃（H.3設置要綱による補欠委員） |
| | 永浜　伴紀 | 鹿大農学部教授 |
| | 永松　実夫 | 鹿大教育学部教授 |
| | 久米　国幹 | 鹿大工学部助教授 |
| | 松下　為隆 | 元鹿大教育学部部長 |
| | 野添　俊雄 | 第一工大工学部部長 |
| 行政 | 中村　利雄 | 県商工労働部長（H.2） |
| （4名） | 羽山　正孝 | 〃（H.3設置要綱による補欠委員） |
| | 大久保博志 | 県新技術情報課長（H.2） |
| | 徳重　勝治 | 〃（H.3設置要綱による補欠委員） |
| | 迫　　一徳 | 県工業振興課長（H.2） |
| | 徳田　　穣 | 〃（H.3設置要綱による補欠委員） |

| | | |
|---|---|---|
| | 北田　定雄 | (財)県産業技術振興協会事務局長（H．2） |
| | 川島　健勇 | 〃（H．3背設置要綱による補欠委員） |

第3期（H．4～H．5）

| | | |
|---|---|---|
| 産業 | 藤山　敏己 | (株)フジヤマ代表取締役社長 |
| （8名） | 吉崎　和穂 | 大和木材(株)専務 |
| | 宮脇真一郎 | (株)宮脇兼太郎商店専務 |
| | 新村　和憲 | 薩摩ガラス工業代表取締役社長 |
| | 藤本　滋生 | 経済連食品総合研究所所長 |
| | 宮原　隆和 | (株)エルム代表取締役社長 |
| | 森重　匡世 | (株)フォーエム代表取締役社長 |
| | ☆本坊　慶吉 | 日本澱粉工業(株)副会長，(社)県工業倶楽部会長 |
| 学術 | 田中　秀穂 | 鹿大工学部教授 |
| （8名） | 平田　好洋 | 鹿大工学部助教授 |
| | 坂元　隼雄 | 鹿大理学部助教授 |
| | 田辺幾之助 | 鹿大農学部助教授 |
| | 松田　健一 | 鹿大教育学部教授 |
| | 茂木　一司 | 鹿大教育学部助教授 |
| | 芝　浩二郎 | 鹿児島工専助教授 |
| | 松村　博久 | 鹿大共同研究センター長（鹿大工学部教授） |
| 行政 | 北田　定雄 | 新技術情報課長 |
| （3名） | 迫田　　昌 | 工業振興課長 |
| | 川島　健勇 | (財)県産業技術振興協会事務局長 |

(3) 鹿児島ハイてく研究会

研究会のチームリーダー，幹部一覧　　H．5．1末日

| 研究会名 | チームリーダー | 幹事 | 備考 |
|---|---|---|---|
| さつま味噌技術研究会 | 藤安　秀一　藤安醸造㈱ | 長谷場　彰　（食品工業部） | 29会員 |
| 大島紬染色加工研究会 | 益田　勇吉　益田織物 | 仁科　勝海　（化学部） | 18会員 |
| SR（シラスリサーチ）研究会 | 永田　実秋　日本浄水管理㈱ | 中重　朗　（窯業部） | 19会員 |
| CAD／CAM研究会 | 奥平　眞　岩崎産業㈱ | 市来　浩一　（機械金属部） | 10会員 |
| 接合技術研究会 | 吉満　裕二　㈱泰平 | 森田　春美　（機械金属部） | 9会員 |
| 難削材加工技術研究会 | 中村　清徳　㈱健康医学社 | 前野　一朗　（機械金属部） | 7会員 |
| 電磁ノイズ対策技術研究会 | 富山　成善　㈱テクノポート | 尾前　宏　（電子部） | 3会員 |
| 情報ネットワーク技術研究会 | 林　孝一　㈱テキノポート | 永吉　弘已　（電子部） | 9会員 |
| 知的情報処理技術研究会 | 南崎　信哉　㈱渕上ミクロ | 久保　敦　（電子部） | 7会員 |
| 木材乾燥技術研究会 | 橋口　信幸　岩崎産業㈱ | 山之内清竜　（木材工業部） | 10会員 |
| 食品工業技術研究会 | 松久保好太朗　サツマ化工㈱ | 上山　貞茂　（食品工業部） | 9会員 |
| さつま工芸会 | 山王　博和　㈱山王産業 | 恵原　要　（デザイン開発室） | 9会員 |

(4) 職員名簿

(昭和[illegible]年4月現在)

| | |
|---|---|
| 所　長（技） | 竹盛欣男 |
| 副所長（〃） | 大迫陽一 |
| 電子専門監 | 松永哲正 |

庶務部

| | |
|---|---|
| 部　長（事） | 武　弥八郎 |
| 主　査 | 修行ヒデ子 |
| 〃 | 横山晴夫 |
| 〃 | 塩副良子 |
| 主　事 | 増山英明 |
| 運転技師 | 原　良一 |

企画情報室

| | |
|---|---|
| 室　長（技） | 堀切政幸 |
| 主任研究員 | 伊藤博雅 |
| 〃 | 森田春美 |

デザイン開発室

| | |
|---|---|
| 室　長（技） | 田原健次 |
| 主任研究員 | 恵原　要 |
| 研究員 | 宮内孝昭 |
| 〃 | 藤田純一 |

食品工業部

| | |
|---|---|
| 部　長（技） | 松久保好太朗 |
| 主任研究員 | 濱崎幸男 |
| 〃 | 長谷場　彰 |
| 〃 | 水元弘二 |
| 研究員 | 瀬戸口真治 |
| ボイラー技士 | 山口　巌 |
| 技術補佐員 | 前田フキ |

化学部

| | |
|---|---|
| 部　長（技） | 田畑一郎 |
| 主任研究員 | 杉尾孝一 |
| 〃 | 仁科勝海 |
| 〃 | 間世田春作 |
| 研究員 | 新村孝善 |

| | |
|---|---|
| 研究員 | 向吉郁朗 |
| 技術補佐員 | 古川郁子 |
| 〃 | 西和枝 |

窯業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 薗田徳幸 |
| 主任研究員 | 肥後盛英 |
| 〃 | 中重朗 |
| 〃 | 国生徹郎 |
| 〃 | 寺尾剛 |
| 〃 | 神野好孝 |
| 研究員 | 袖山研一 |
| 技術補佐員 | 川原キクエ |

機械金属部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 清藤純一 |
| 主任研究員 | 泊誠 |
| 〃 | 出雲茂人 |
| 〃 | 浜石和人 |
| 〃 | 前野一朗 |
| 〃 | 田中耕治 |
| 研究員 | 瀬戸口正和 |
| 〃 | 市来浩一 |

電子部

| | |
|---|---|
| 部長（技・兼） | 大迫陽一 |
| 主任研究員 | 永吉弘己 |
| 研究員 | 小正好人 |
| 〃 | 久保敦 |

木材工業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 山田式典 |
| 主任研究員 | 遠矢良太郎 |
| 〃 | 上原守峰 |
| 〃 | 米藏優 |
| 研究員 | 中村俊一 |
| 〃 | 森田慎一 |
| 〃 | 山角達也 |
| 〃 | 山之内清竜 |
| 〃 | 福留重人 |

研　究　員　日高富男

所　長（技）　今川耕治
副所長（〃）　大迫陽一
電子専門監　松永哲正

庶務部

部　長（事）　岸本哲二
主　査　修行ヒデ子
〃　横山晴夫
〃　塩福良子
主　事　増山英明
運転技師　原　良一

企画情報室

室　長（技）　堀切政幸
主任研究員　伊藤博雅
〃　森田春美
研　究　員　日高富男

デザイン開発室

室　長（技）　田原健次
主任研究員　恵原　要
研　究　員　宮内孝昭
〃　藤田純一

食品工業部

部　長（技）　松久保好太朗
主任研究員　濱崎幸男
〃　長谷場　彰
〃　水元弘二
研　究　員　瀬戸口真治
ボイラー技士　山口　巖
技術補佐員　前田フキ

化学部

部　長（技）　田畑一郎
主任研究員　杉尾孝一
〃　出雲茂人
〃　仁科勝海
〃　間世田春作

| | |
|---|---|
| 研究員 | 西元研了 |
| 〃 | 向吉郁朗 |
| 技術補佐員 | 古川郁子 |
| 〃 | 西和枝 |

窯業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 薗田徳幸 |
| 主任研究員 | 肥後盛英 |
| 〃 | 中重朗 |
| 〃 | 国生徹郎 |
| 〃 | 寺尾剛 |
| 〃 | 神野好孝 |
| 研究員 | 袖山研一 |
| 技術補佐員 | 川原キクエ |

機械金属部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 清藤純一 |
| 主任研究員 | 泊誠 |
| 〃 | 浜石和人 |
| 〃 | 前野一朗 |
| 〃 | 田中耕治 |
| 研究員 | 瀬戸口正和 |
| 〃 | 市来浩一 |

電子部

| | |
|---|---|
| 部長（技・兼） | 大迫陽一 |
| 主任研究員 | 永吉弘己 |
| 研究員 | 久保敦 |
| 〃 | 尾前宏 |

木材工業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 山田式典 |
| 主任研究員 | 遠矢良太郎 |
| 〃 | 上原守峰 |
| 〃 | 米藏優 |
| 主任研究員 | 中村俊一 |
| 〃 | 森田慎一 |
| 研究員 | 山角達也 |
| 〃 | 山之内清竜 |
| 〃 | 福留重人 |

(平成2年4月現在)

| | |
|---|---|
| 所　長（技） | 今川耕治 |
| 副所長（〃） | 大迫陽一 |
| 電子専門監（〃） | 松永哲正 |

庶務部

| | |
|---|---|
| 部　長（事） | 岸本哲二 |
| 主　査 | 修行ヒデ子 |
| 〃 | 横山晴夫 |
| 〃 | 塩福良子 |
| 主　事 | 盛永敏幸 |
| 運転技師 | 原　良一 |
| 技術補佐員 | 亀澤浩幸 |

企画情報室

| | |
|---|---|
| 室　長（技） | 堀切政幸 |
| 主任研究員 | 水元弘二 |
| 〃 | 国生徹郎 |
| 〃 | 日高富男 |

デザイン開発室

| | |
|---|---|
| 室　長（技） | 児浦純大 |
| 主任研究員 | 恵原　要 |
| 研究員 | 宮内孝昭 |
| 〃 | 藤田純一 |

食品工業部

| | |
|---|---|
| 部　長（技） | 松久保好太朗 |
| 主任研究員 | 濱崎幸男 |
| 〃 | 長谷場　彰 |
| 研究員 | 瀬戸口真治 |
| 〃 | 上山貞茂 |
| 技術補佐員 | 前田フキ |

化学部

| | |
|---|---|
| 部　長（技） | 田畑一郎 |
| 主任研究員 | 杉尾孝一 |
| 〃 | 出雲茂人 |
| 〃 | 仁科勝海 |
| 〃 | 間世田春作 |
| 研究員 | 西元研了 |

| | |
|---|---|
| 研究員 | 向吉郁朗 |
| 技術補佐員 | 古川郁子 |
| 〃 | 西和枝 |

窯業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 薗田徳幸 |
| 主任研究員 | 肥後盛英 |
| 〃 | 中重朗 |
| 〃 | 寺尾剛 |
| 〃 | 神野好孝 |
| 研究員 | 袖山研一 |
| 技術補佐員 | 川原キクエ |

機械金属部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 清藤純一 |
| 主任研究員 | 浜石和人 |
| 〃 | 前野一朗 |
| 〃 | 田中耕治 |
| 〃 | 森田春美 |
| 研究員 | 瀬戸口正和 |
| 〃 | 市来浩一 |

| | |
|---|---|
| 所長（技） | 今川耕治 |

庶務部

| | |
|---|---|
| 部長（事） | 山内康平 |
| 主査 | 修行ヒデ子 |
| 〃 | 海江田勝巳 |
| 主事 | 盛永敏幸 |
| 〃 | 森知子 |
| 運転技師 | 原良一 |
| 技術補佐員 | 亀澤浩幸 |
| 非常勤 | 印口佳徳 |

企画情報室

| | |
|---|---|
| 室長（技） | 堀切政幸 |
| 主任研究員 | 水元弘二 |
| 〃 | 国生徹郎 |
| 〃 | 山角達也 |

| | |
|---|---|
| 非常勤 | 石原　学 |

デザイン開発室

| | |
|---|---|
| 室長（技） | 児浦純大 |
| 研究員 | 恵原　要 |
| 研究員 | 藤田純一 |
| 〃 | 山田淳人 |

食品工業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 濵崎幸男 |
| 主任研究員 | 長谷場　彰 |
| 研究員 | 瀬戸口真治 |
| 〃 | 上山貞茂 |
| 〃 | 髙峯和則 |
| 〃 | 安藤浩毅 |
| 技術補佐員 | 美坂幸子 |

化学部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 田畑一郎 |
| 主任研究員 | 杉尾孝一 |
| 〃 | 出雲茂人 |
| 〃 | 仁科勝海 |
| 〃 | 間世田春作 |
| 研究員 | 西元研了 |
| 〃 | 向吉郁朗 |
| 技術補佐員 | 古川郁子 |
| 〃 | 西　和枝 |

窯業部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 薗田徳幸 |
| 主任研究員 | 肥後盛英 |
| 〃 | 中重　朗 |
| 〃 | 寺尾　剛 |
| 〃 | 神野好孝 |
| 研究員 | 袖山研一 |
| 技術補佐員 | 川原キクエ |

機械金属部

| | |
|---|---|
| 部長（技） | 清藤純一 |
| 主任研究員 | 浜石和人 |
| 〃 | 前野一朗 |

主任研究員　田中耕治

電子部

部長（技・兼）　大迫陽一

主任研究員　永吉弘己

研究員　仮屋一昭

〃　久保敦

〃　尾前宏

木材工業部

部長（技）　山田式典

主任研究員　遠矢良太郎

〃　上原守峰

〃　米蔵優

〃　森田慎一

〃　中村俊一

〃　中村寿一

〃　山之内清竜

研究員　日高富男

（財団法人鹿児島県産業技術振興協会）

参事付（技）　伊藤博雅

工業試験場の沿革

| 年　　月 | 摘　　要 |
|---|---|
| 大正12年 4月 | 鹿児島市高麗町17番地に鹿児島県工業試験場を設立し，染色・機織の２部を置く。 |
| 昭和 2年 3月 | 鹿児島県告示第25号により大島郡名瀬町（名瀬市）に大島分場を設置。 |
| 昭和 4年 6月 | 鹿児島市原良町に移転し，醸造・玉糸製糸・撚糸及び図案の４部を設置，さきに増設の原料糸検査部を加え７部とする。 |
| 昭和 4年11月 | 鹿児島県告示第407号により大島分場を改組し鹿児島県大島染色指導所として発足。 |
| 昭和15年 4月 | 窯業部を増設し８部とする。 |
| 昭和17年 1月 | 木工及び化学の２部を増設し10部とする。 |
| 昭和18年12月 | 醸造・機織及び染色の３部を廃止（醸造部門は化学部に吸収）。 |
| 昭和21年 4月 | 鹿児島県木工養成所を併設。 |
| 昭和21年12月 | 鹿児島県工業指導所と改称し，化学・木工・窯業及び工芸振興の４部に改編。 |
| 昭和23年 1月 | 竹工部を増設。 |
| 昭和24年 4月 | 鹿児島県工業試験場と改称し，庶務・化学及び工芸（木工・竹工・窯業）の３部に改編。 |
| 昭和26年 4月 | 化学部のなかから醸造係を分類して発酵工業部を新設。 |
| 昭和27年 4月 | 工芸部のなかから木工及び竹工係を分離して木竹工部を新設し，又揖宿郡指宿町（指宿市）に指定分場を設置。 |
| 昭和28年 4月 | 木工部及び木工養成所を分離して，鹿児島県木材工業試験場として発足。 |
| 昭和34年11月 | 鹿児島市武町100番地に移転（50年７月住居表示変更）。 |
| 昭和38年 6月 | 指宿分場を廃止。 |
| 昭和39年 4月 | 工芸部を窯業部に改め，化学部に機械金属班を設置。 |
| 昭和42年 4月 | 新庁舎の建設着工。 |
| 昭和43年 2月 | 新庁舎竣工。 |
| 昭和43年 8月 | 機械金属班を分離して鹿児島県機械金属技術指導センターとして発足。 |

木材工業試験場の沿革

(1) 工業試験場に木工部の設置

昭和17年 1月　鹿児島県工業試験場に化学部と木工部が増設され，木材工業試験場誕生の礎石が打たれました。

しかし，木工部増設後，まもなく木工担当職員が転出し昭和18年11月に後任担当者が就任するまで技術者不在であり，又，施設の整備も遅れたためにやむを得ず県内木工場を巡回指導して業務を進めざるを得ない状況でありました。

昭和18年12月　工業試験場創設の中核であった醸造・機織・染色・図案の各部が廃止され醸造は化学部へ吸収など部の統廃合がなされ，木工部の充実など計画がありましたが，昭和19年に入り太平洋戦争の激化するなかで，職員の増員，施設整備もままならず木工担当職員１名で県内企業の指導を実施しながら昭和20年８月の終戦を迎えることとなりました。

(2) 木工養成所の併設

戦後復興，木工技能者不足の解消と復員者職業対策の一環として，昭和21年４月国庫補助を受けて，鹿児島県木工養成所が併設され多数の応募者があり本格的な木工技能者養成が始りました。鹿児島県工業試験場の名称も昭和21年12月，鹿児島県工芸指導所と改称，庶務・化学・窯業及び工芸振興の４部に改変されました。昭和23年１月，竹工部が増設されるに及び工芸部門は次第に充実され業界育成，技能者の養成に一応の成果を得ました。更に，県産業の開発振興のために化学部門の拡充を機会に機関名を，昭和24年４月，鹿児島県工業試験場と再び改称，庶務・化学・工芸（木工・竹工・窯業）の３部に改編して，昭和25年２月西野弘場長が着任されました。

(3) 木材工業試験場の設立

工芸部門が充実されていくなかで，昭和23年に鹿児島県も重要木工指定県として国の指定を受けこれを契機に県産材の利用化，県内企業育成が促進されることになりました。

木工業の振興につれて木工業界から独立した木工業に関する試験研究指導機関設置の要望が強まり，これに応えるために，昭和27年４月，工芸部のなかから木工及び竹工係を分離して木竹工部を新設，更に，昭和28年４月，木竹工部及び木工養成所を工業試験場から分離統合して，鹿児島県木材工業試験場を設立して，庶務・指導・研究・技術の４部制がとられ，県内木竹関連業界の指導育成にあたることになり，昭和29年３月，徳島県から鬼塚信之氏を初代場長に迎えて発展の基礎がつくられました。

鹿児島県機械金属技術指導センターの沿革

当センターは，本県の機械金属工業の振興を企図して，昭和39年４月県工業試験場の化学部の機械金属班として発足し，金属材料の強度試験・分析，非破壊検査等を中心に，依頼業務や技術指導を開始したのが始まりです。

さらに，昭和40年代の高度成長期の息吹に対応し，地域の工業化，技術の高度化に伴い，地域産業に密着した試験研究と指導体制の強化を図る目的で，昭和43年８月県機械金属技術指導センターとして工業試験場より分離独立し，庶務，技術の２部体制で発足し，以来，人材確保と職員の資質の向上対策並びに施設，設備機器の整備強化が図られました。

まず，試験研究機関としての通常の試験・研究業務のほかに，人材育成による技術高度化を図るために，地域産業の基盤技術ともいうべき機械加工技術の向上対策として，国の補助を得て中小企業技術者研修（機械工学コース）を初年度より開始し，昭和47年度から短期研修（溶接工学コース）とし，昭和51年度まで同事業を行い，県内各地から技術者の資質の向上と地域中小企業の生産技術の高度化に成果が得られました。

又，高度成長期，昭和40年代後半になると県内に先端技術産業の立地が進むにつれて，依頼試験や設備利用に伴う技術相談・指導も地元下請関連企業を中心に，技術の高度化・多様化或いは新技術の導入等についてと，その内容が変化，多岐にわたるようになってまいりました。

さらに，昭和50年代に入り，技術革新のテンポが急速化し，技術分野によっては，１年前の技術が陳腐化するといった場合さえあり，中小企業は対応に苦慮している状況がみられ，特にその後の円高，貿易摩擦，或いはNICSの追い上げなど，製造業を中心とした空洞化現象，構造変革が迫られ，県内業界も厳しい環境に置かれました。

このような背景の中で，当センターの業務も，大手先端技術産業の金型治工具或いは電気・電子部品の加工を中心に発生する需要を地域の企業が如何に対応するか，高精度，低コスト，短納期等の厳しい要請に応えて県内受注をいかに拡大できるか。又，志布志湾国家石油備蓄基地建設，或いは，新幹線工事，それに伴う大型建設工事等の高度な品質，安全性確保が要求される大型構造物の受注等についての地域業界の技術的課題の解決に向けて，昭和58年度以降，金型治工具技術振興対策事業，大型構造物溶接技術振興対策事業，及び塗装技術振興対策事業等のそれぞれの事業を推進し，技術のレベルアップと体制整備を強化するとともに，機器整備や技術研修会・講習会並びに試験研究を重点的に実施して参りました。

この間の主要な実績としては，延べ141テーマについての研究報告を業務報告書に掲載し，又，研修会・講習会に関しては，参加人員延べ6,500名に達し，県内の関連企業（金属，機械，輸送，精密）の総従業員4,800名（'61工業統計）とすると全員が平均1.3回参加されたことになります。研究職員８名という人員で通常業務とあわせて懸命の努力を重ねてまいりました。

## あ　と　が　き

工業技術センター創立５周年を迎え，これを機会に記録集を発行することになりました。

編集につきましては，昭和62年度から平成３年度の年報を中心に当工技センター研究業務・指導業務などを一括して，その足跡を掲載しました。

今後，10年，20年後の工技センター年史作成の礎になればと考えました。たかが５周年，されど５周年の念（思い）で作成しました。

短期間での編集，発刊となったため，不備な点も多々あると存じますが，あらかじめお許しをいただき，お気付の点がありましたらご一報くだされば幸いに存じます。

最後に，この記録集を発行にあたり，回想録を快くお引受けくださった先輩諸氏ならびに，資料提供など御協力いただいた方に厚く御礼申しあげます。

編集委員

陣内　和彦　　濱崎　幸男
大迫　陽一　　田畑　一郎
山内　康平　　山田　式典
堀切　政幸　　出雲　茂人
児浦　純大　　清藤　純一
　　水元　弘二

5年のあゆみ

平成5年1月　発行
編　集　5年のあゆみ編集委員会
発行人　陣　内　和　彦
発行所　鹿児島県工業技術センター
〒899-51　鹿児島県姶良郡隼人町小田1445-1
TEL　0995-43-5111
FAX　0995-64-2111